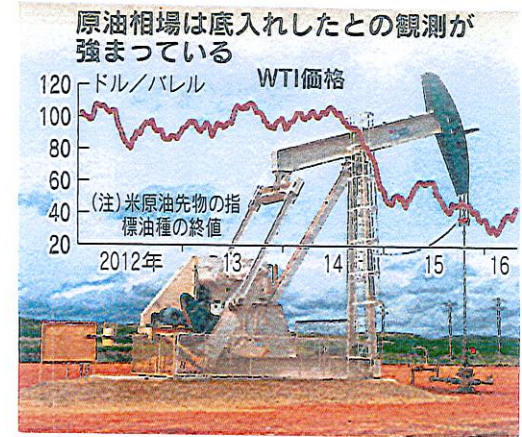


◆合成樹脂、下落続く、国産ナフサも16%下落！

合成樹脂の国内取引価格は2015年後半以降下げが続いている。原料となるナフサ（粗製ガソリン）価格が今年2月までの原油安に伴って下落し、遅れて樹脂の値動きに影響している。包装用品に使う低密度ポリエチレンは直近高値を付けた2014年7月から24%も値下がりがした。ポリエチレンは5年ぶりの安値水準だ。またミートトレーなどで使われる原料のポリスチレンは20%以上の下落が続いている。値決めの指標となるのは国産ナフサの価格。2015年1月から3月で比較すると7年ぶりの安値水準となる。最近の世界的な原油安は米国のシェール企業を直撃昨年には60社が破綻した。



シェールは減産も進めている(米ノースダコタ州とモンタナ州にまたがるバッケン鉱区)



◆目を見張る、進化する人口頭脳やスマホ！①

「電子レシートプラットフォーム、スマートレシート」顧客が会計を行った際に、レジで受け取る従来の紙レシートのデータそのものを電子化し、顧客に提供するシステム。過去のレシートのデータはスマホ内に蓄積され、いつでも見返すことができるので家計簿につける際便利だ。スマートレシートを導入した店舗はデジタル販促や電子クーポンの発行やレシート画面上にキャンペーン情報を発信できる。「クーポンは携帯画面からの方が顧客の使用率が上がる」という調査結果も出ており、販促効果が期待できる。

◆GW、百貨店、小売りも販売好調！

今年のゴールデンウィークは企業によってはロングホリデーの所もあり、概ね好調な売れ行きを示した。スーパーなど小売は期間中、好天に恵まれ集客やイベントが販売に寄与した。高島屋は4月29日～5月8日、前同期比8%増、大丸松坂屋も関西を中心に10%増を記録、ヤマダ電機も二桁の増、イオンも同期10%増と小売流通業はおおむね好調であった。またガソリンの安さからか近郊にドライブする行楽客や近場に旅行する人たちも多かったようだ。



◆スーパー売上高、2015年度2.1%増！

日本チェーンストア協会の発表によると2015年度の全国スーパー売上高は(既存店ペース)で13兆1,842億円で前年比2.1%伸びた。1997年の消費税増税時にはマイナスが続いたが2014年の増税の影響は長引かなかった。景気回復や雇用環境の改善、ガソリン価格の安定などが消費に追い風となった模様。特に生鮮や惣菜がけん引した。

◆中食・惣菜産業、将来の展望！④

日本経済は1990年代初頭にバブルが崩壊し、長期のデフレ局面にはいった。物価の持続的下落で企業の悪化、賃金引き下げによる消費者の購買力の低下、そして低価格競争の激化という負のデフレスパイラルが常態化した。所得格差の拡大も進み、高まる高所得者層の購買力が実態経済の活性化に寄与するところは小さく、一方で子供を含めて十分な食を摂ることのできない層が拡大している。子供の相対的貧困率は2009年には15.7%となった。近年日本でもフードバンクなど貧困者の食を支援する活動が広がりを見せている。今後「買い物弱者」の問題も消費の潜在を掘り起こすことが必要だろう。また、20歳代では4人に一人が朝食をとらず、その市場規模は1兆5千億円規模にも達するという問題もある。



◆ 対応の良さ日本一！
アロンに聞けば何でも判る！
親切、丁寧、スピード回答！

◆ 食品容器・包装資材・総合商社 ◆

アロン・トレーディング株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町1-14 ☎03-3257-1701(代)
仙台営業所 仙台市青葉区中央4-8-17 ☎022-211-0701(代)
札幌営業所 札幌市豊平区月寒西1条3-5-1 ☎011-853-2597(代)